

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No.22

文責：校長 佐藤 裕子



第68回福島県書きぞめ展「優秀学校賞」受賞。

全校児童で挑戦した「第68回福島県書きぞめ展」において、2年連続「優秀学校賞」をいただきました。また、2年齋藤理々奈さんが「書きぞめ大賞(第1位)」に輝くなど、多数の児童が上位入賞を果たしました。まさに快挙です。

子供たちの努力(「何百枚も書きました!」「夜遅くまでがんばりました!」「3時間も集中して練習しました!」「夏からずっと練習しました!」等)が報われて本当にうれしく思います。上位入賞の児童に話を聞くと、最後の最後に行った一枚が一番の良い出来で、この作品を出品したとのこと。“最後まであきらめない気持ち”が本当に大切なのだと思います。

本校教育目標[夢に向かって 最後まで]を具現化した子供たちに大きな拍手を送ります。



| | | | |
|-----------|----|-----|----|
| 【書きぞめ大賞】 | 2年 | 齋藤 | さん |
| 【書きぞめ準大賞】 | 2年 | 鈴木 | さん |
| 【書きぞめ賞】 | 1年 | 丹治 | さん |
| | 5年 | 長尾 | さん |
| | 6年 | 奈良輪 | さん |
| 【書きぞめ奨励賞】 | 3年 | 鶴田 | さん |
| | 4年 | 玉木 | さん |

おめでとうございます!



◆第3回協働による学校づくりアンケートから

【児童】

児童は、「ふるさと平田を誇りに思う(4.0)」「いじめは、どんな理由があってもいけない(4.0)」「学校に行くのが楽しい(3.8)」と感じているようです。

また、「係や当番、委員会の仕事をしっかり行う(3.8)」と、集団の中における“やくわり”を果たし、「元氣よくあいさつや返事をする(3.9)」「学校のきまりや学級の約束を守る(3.8)」「友達と仲良くできる(3.9)」と、人との“かかわり”を大事に生活している様子がわかります。

さらに、「PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ(3.8)」「生活科や総合的な学習の時間などで行う体験活動に一生懸命取り組む(3.9)」「授業はわかりやすく楽しい(3.8)」と、思っているようです。「先生や友達の話をしっかり聞く(3.8)」「家で、宿題や勉強をしっかりとやる(3.8)」も前回より上昇しています。「昼休みなどは外や体育館で元氣よく遊ぶ(3.8)」「運動を一生懸命がんばる(3.9)」となっており、“よく学び、よく遊ぶ”本校児童の姿が現れています。

●児童・自由記述

「1/30のおぼん洗いを手伝って教室に帰るときに、廊下に水が垂れていて拭いていました。その時にそれを見つけた1年生のみんながティッシュを持ってきて、一緒に拭いてくれました。手伝ってくれて嬉しかったです(6年)」とあるように「人が困っているときは、進んで助ける(3.6)」「思いやり」の心も育っています。

【教職員】

前回アンケートより向上している「児童は話を聞く態度が身に付いている(3.5)前回比+0.2」「家庭学習の習慣化のため、適切な指導を行う(3.4)+0.4」「自分の考えを進んで話したり、友達の考えを聞いて自分の考えと比べたりする学習活動を展開する(3.4)+0.2」「体験活動を積極的に推進する(3.4)+0.2」「善悪の判断、自由と責任について指導する(4.0)+0.2」「いじめや仲間はずれがない指導を行う(3.6)+0.2」「道徳の授業で、多面的・多角的に考えさせたり、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めさせている(3.7)+0.1」「情報リテラシーを育成する指導を計画的に行う(3.7)+0.1」「異年齢でかかわりながら学ぶ活動を通して、思いやりの心が育てる(3.7)+0.3」「子供のよいところを積極的に認める(3.9)+0.2」「自分を見つめさせ、夢やなりたい自分を考えさせる(3.3)+0.3」「個に応じたきめ細かな指導を心がける(3.4)+0.4」「基礎・基本が確実に身に付くように指導する(3.4)+0.4」「環境整備をしっかりと行う(3.8)+0.4」等は、1年間を通して、教職員が努力してきた点です。

【保護者】

今年度重点目標である「地域の教育力を生かした教育活動を行っている(3.6)」「ふるさと教育に力を入れている(3.7)」「体験活動を積極的に推進している(3.6)」にご理解いただき、ほっとしています。

また、「学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組む(3.6)」「子供一人一人を大切にしたいきめ細かな教育活動を行う(3.5)」「各種たよりやホームページで情報発信し、子供たちの様子を伝える(3.8)」と、あたりまえのことではありますが、評価していただきうれしく思います。

さらに、「先生は、子供や保護者の相談に親切に応じている(3.7)」「自分(親)は、子供が話す学校の話をよく聞く(3.6)」から、「聴くことを大切に」ということを共有できており、「子供は、何事にも失敗を恐れないで挑戦する(3.0)」「子供は、自分でやると決めたことは、やり遂げる(3.1)」も前回より向上しており、成果だと捉えています。

一方、「子供は、ゲーム、携帯電話・スマホやコンピュータは、約束したことを守って使っている(2.6)」「子供は、よく本を読んでいる(2.8)」「子供は、家庭学習の習慣が身に付いている(2.9)」について、ご家庭と連携して、個別に指導していかねばならない課題だと捉えています。

●保護者・自由記述

「いつも子供に寄り添い指導していただき、ありがとうございます。(2年)」「異年齢交流や、地域の方々に学ぶ学習、平田ならではの学校生活を楽しみ過ごさせています。ブログの展開は、保護者にとって学校生活の様子が伺える情報源となり、また家庭での会話の話題にもなっています。楽しい=学校=勉強という流れの中でどんどん成長してほしいです。(3年)」「平田小で、日頃から実のある楽しい時間を過ごさせてもらっている事、心より感謝します。(4年)」「高学年になり、責任感が増しました。周りの友達に刺激されている感じがしています。少ない人数だからこそ、いろんな情報が細かく入ってくる環境で、尚且つ自己分析もできて、将来について考える時間も増えたようです。学校での様々な体験活動で、いろんな感情も持てたと思います。臆病な性格もいつしか無くなってきて堂々としてきた様子で自信もできました。卒業までの残りの時間で更に大人になると思います。みんなに感謝して優しい気持ちを持つ中学生になってほしいです。よろしくお祈りします。(6年)」とのうれしい応援メッセージをいただいております。

※お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。今後の学校運営に反映させてまいります。今後ともご意見等ございましたら、ご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。(校長)